

国際基準からみた日本のジェンダーギャップ ～私たちは何を許してきてしまったのか～

2023年に発表された日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位で、前年（146カ国中116位）より後退しました。

昨今の子どもへの性加害問題、女性への性暴力や性産業など、国際的にみて対策が著しく遅れていることは明白です。この背景には、私たちが見て見ぬふりをしてきたこともあるのではないのでしょうか。

ジェンダー主流化の視点でこれからを考え、変えていくために、UN Women（国連女性機関）日本事務所長の石川雅恵さんに、世界の状況をふまえ日本の現状についてお話を伺います。大変貴重な機会です。ぜひご参加ください。

いしかわかえ

【講師プロフィール】：石川雅恵さん

2017年10月、UN Women 日本事務所長就任。国連本部及び地域・国事務所において資金調達とパートナーシップ構築業務に従事。日本政府国連代表部専門調査員としてニューヨークにて女性の人権にかかわる事案を担当。UNICEF 本部でアシスタントプログラムオフィサーとして子どもの性的搾取撲滅に取り組むなど国際的に活躍。



■日時：2023年11月6日(月)14時～16時

■会場：東京・生活者ネットワーク会議室＋オンライン(予定)

■講師：石川雅恵さん(UN Women 日本事務所長)

■定員：会場 30名 オンライン 50名(予定)※事前申し込み制

※地域ネットごとに10月30日までに会場参加かオンラインかを明記の上、政策調査室
(seisaku@seikatsusha.net) までメールで。

■対象：会員とその紹介者

■参加費：無料



主催：東京・生活者ネットワーク